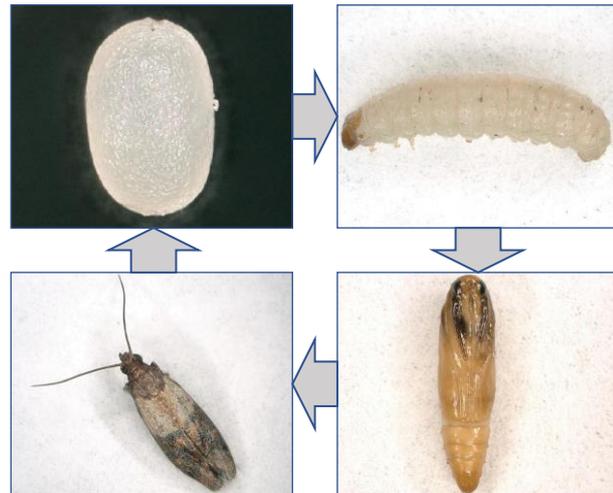


ノシメマダラメイガ

分類：チョウ目(鱗翅目)メイガ科

学名：*Plodia interpunctella*

英名：Indian meal moth



■解説²⁾

本種の幼虫は食性が広く、穀粉、豆類（大豆）、ナッツ類などの原料から、動物質を含めたほとんどの加工食品を加害する問題種であり、異物混入のトラブルも多い。孵化後の幼虫は、餌の探索を活発に行い、包装材料のピンホールや隙間から製品中へ侵入することがある。また、穿孔能力が優れており、包装資材に穴を開けて製品内へ侵入することもある。

本種が発生している箇所には、幼虫による吐糸が見られる。吐糸で綴られた食品残渣が見られる場合には、本種あるいはその他のメイガ類が生息している可能性が高い。

■体長

卵：0.49±0.02×0.29±0.01mm¹⁾
 幼虫：8～10mm 内外²⁾
 蛹：7mm 内外²⁾
 成虫：体長 10mm 内外 開張 18mm 内外²⁾

■産卵数³⁾

産卵数/生涯：6.6 卵 (15℃)
 96.1 卵 (25℃)
 87.3 卵 (30℃)

■ライフサイクル

卵：4.0 日 (30℃)³⁾
 幼虫：20.9 日 (30℃)³⁾
 蛹：♀7.1±0.39 日 ♂7.2±0.43 日 (30℃)³⁾
 成虫：11.7 日 (25℃ 70%R.H.)⁴⁾

■発育零点（発育停止温度）³⁾

10.8℃

【参考文献】

- 1) G.L.Lecato et al. Description of Eggs of Selected Species of Stored-Product Insects. Journal of the Kansas Entomological Society 47(3). 1974, p. 308
- 2) 原田豊秋. 食糧害虫の生態と防除. 光琳. 1971, p. 468
- 3) 田村正人. ノシメマダラメイガ *Plodia interpunctella* HUBNER の生態に関する実験的研究. 東京農業大学. 1978, p. 122
- 4) 井村治. 貯蔵食品を加害するマダラメイガ類の生態. 食糧 25. 農林水産省食品総合研究所. 1985, p. 47-76